



下石小だより

令和4年12月1日
12月号(第518号)
練馬区立下石神井小学校
校長 永井美奈子

TEL 03-3997-5241

FAX 03-3997-0942

ホームページアドレス <http://www.shimosyakuji-e.nerima-tyky.ed.jp/>

全国学力・学習状況調査結果(概要)のお知らせ

今年度の「全国学力・学習状況調査」について、本校の集計結果、分析についてお知らせします。

「全国学力・学習状況調査」4月19日実施 調査対象 6年生154名

(1) 国語

学習指導要領の領域の内容 平均正答率(%)

	言葉の特徴や使い 方に関する事項	我が国の言語文 化に関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	国語全体
本校	74.5	72.1	66.9	53.2	71.8	69.0
東京都	71.4	75.5	69.1	51.3	72.1	69.0
全国	69.0	77.9	66.2	48.5	66.6	65.6

☆平均正答率は、全体では全国の平均に比べて3.4ポイント上回り、東京都の平均と比べると同等でした。

○平均を上回った問題

「言葉の特徴や使い方に関する事項(話し言葉や書き言葉の違い・漢字の書き取りなど)」や「書くこと(文章全体の構成に着目して整えたり、文章に対する感想や意見から自分の文章のよいところを見付けたりする)」では、全国や都の平均を上回りました。ふだんから、授業や課題として漢字の反復練習に取り組む機会を設けたり、毎日の生活日記(3行日記)を書いたりすることで、書くことの積み重ねをしていった成果であろうと考えられます。

●平均を下回った問題

「我が国の言語文化に関する事項(漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く)」では、全国、都の平均を下回りました。誤答した児童の傾向を見ると、「文字の大きさ」や「文字と文字との間」に注意することは理解しているものの、「行の中心に文字の中心をそろえて書く」ことを捉えることができませんでした。

◎調査結果を受けての学習の重点

今後の授業では、ノートや原稿用紙を使うときなどに、行の中心に文字の中心をそろえて書くことを意識できるように指導していきます。また、書写の硬筆でも同じ指導を繰り返し行うことで、正しい書き方が定着するのではないかと考えられます。

☆児童質問紙より

「国語の勉強は好きですか」という問いに対して、「そう思う」23.4%、「どちらかといえばそう思う」29.2%という回答でした。

◎上の結果から、授業で子供たちに関心がもてるような教材の工夫を行ったり、ワークシートを作成したりする必要があると考えます。また、話し合い活動や学び合い活動などを通して、意見を伝えたり聞いたりすることの楽しさを伝えていけるような授業改善に努めて参ります。

(2) 算数

学習指導要領の領域の内容 平均正答率(%)

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	算数全体
本校	73.3	71.9	61.9	75.3	70.0
東京都	72.1	68.6	57.6	72.4	67.0
全国	69.8	64.0	51.3	68.7	63.2

☆平均正答率は、全国を6.8ポイント、東京都平均を3ポイント上回り、領域、評価の観点、問題形式についてのいずれも東京都平均を上回っています。

○平均を上回った問題

計算問題や、問題文にある数値を用いて計算し解答する内容については、正答率が高くなっています。日常的に取り組んでいる学習の成果が見られていると考えられます。

●平均を下回った問題、課題となる内容

「数と計算」領域の、式の意味を説明する問題の正答率は、東京都平均より 2.9 ポイント下回りました。また、東京都平均は上回るものの、概数を用いた計算結果の見積りの考え方についての定着に課題が見られます。立式の根拠や、考え方の説明について表現することが苦手な児童が多いためと考えられます。

さらに、「変化と関係」領域の、「割合」の意味理解、比例の関係の活用についても課題が見られます。問題場面を数直線図や表、式で表現し解決することの苦手な児童が多いためと考えられます。

◎調査結果を受けての学習の重点

- ・課題の解決方法を複数考え、図や式、言葉を用いて表現・説明し、式や図を読む活動を通して友達の考えを理解する活動を、意識して積み重ねるようにしていきます。
- ・「割合」は「全体のどれだけに当たるか」を表す、などのように、自分なりの言葉で表現できるようにし、意味や概念の理解に結び付けられるようにします。
- ・比例の関係（ x が n 倍になると、それに伴って y も（同じ） n 倍になる。）の活用の場面などを通し、そのよさを具体的に捉えられるような活動を実態に応じて意識的に取り入れるようにします。

☆児童質問紙より

「算数の授業で学習したことを、ふだんの生活の中で活用できないか考えますか」に対し、「そう思う」24.7%、「どちらかといえばそう思う」29.2%という回答でした。

◎算数で扱っている事象は、日常生活とも結び付いているものです。具体から抽象、抽象から具体、知識及び考え方を統合的にとらえられるよう、適宜学習の中で気付かせていきます。

例 コンパスで長さを測りとり いくつかのまとまりで考える
大体で考える 長さ、体積（かさ）、重さの見当を付ける（量感）

(3) 理科

学習指導要領の領域の内容 平均正答率(%)

	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	理科全体
本校	50.0	62.3	77.0	67.8	65.0
東京都	53.4	62.4	77.4	67.7	65.0
全国	51.6	60.4	75.0	64.6	63.3

☆平均正答率は、全国を 1.7 ポイント上回り、東京都平均とほぼ同じでした。学習の区分、評価の観点、問題の形式についても、やや下回るところもありますが、ほぼ、東京都の平均値と同じぐらいでした。

○平均を上回った問題

「問題を解決するまでの道筋を構想するもの」で、東京都平均を 4.8 ポイント上回りました。

これは、ふだん、問題解決型の授業を多く取り入れることで、その学習の流れが身に付いており、見通しをもった学習ができているためと考えられます。

●平均を下回った問題

「観察で得た結果を分析して解釈し自分の考えをもつもの」であり、これは東京都平均を 7.1 ポイント下回りました。ふだんの授業の中でも、観察や実験は意欲的に行うが、結果を正確に記録することや、その結果から考察して結論を導き出すことが苦手な児童が多いためと考えられます。

◎調査結果を受けての学習の重点

- ・観察、実験などの過程でそこから得られた結果を適切に記録するなど、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができるようにします。
- ・得られた観察、実験の結果から、それを根拠として考察し、話し合いも交えて結論を導き出します。その学習サイクルを繰り返し行っていきます。

☆児童質問紙より

「理科の授業で学習したことをふだんの生活の中で活用できないと考えますか」に対し、「そう思う」24.7%、「どちらかといえばそう思う」31.8%という回答でした。

◎理科の学習で得た知識をより深く理解できるようにします。また、その知識をふだんの生活の中でも意識できるようにします。

例 習得した知識を活用して学習の成果を日常生活の中で捉え直す。
・植物の水やりはどこにかけるといいか？→植物の体のつくりを考える
→植物は根から水を吸い上げるため、土の部分に水をやるようにする。
・大掃除の際の洗剤の使いどころは？→反対の性質で打ち消す「中和」の考えを取り入れる
→酸性（クエン酸等）を使うのは、水垢、トイレなどのアルカリ性の汚れに対して、
アルカリ性（重曹等）を使うのは、油汚れ、皮脂、手垢などの酸性の汚れに対して使う。

(4) 意識調査（一部抜粋）

今回の調査では、生活や学習、教科についての75項目の意識調査も行われました。その結果から一部を抜粋してお知らせします。

①朝食を毎日食べていますか

	当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない
本校	87.0	7.1	4.5	1.3
東京都	85.8	8.8	3.9	1.4
全国	84.9	9.5	4.1	1.4

②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

	3時間以上	2時間以上、 3時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	30分より少 ない	全くしない
本校	26.0	16.9	24.7	19.5	10.4	2.6
東京都	25.6	14.0	25.7	21.2	9.5	3.8
全国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2

①と②の回答から、全国や東京都より、朝食をしっかり食べ、家庭できちんと学習するといった基本的習慣が身に付いている児童が多い結果となっています。

③自分には、よいところがあると思いますか

	当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない
本校	32.1	33.1	19.5	14.9
東京都	43.0	37.1	12.5	7.3
全国	39.4	39.9	13.5	7.2

④難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

	当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない
本校	24.0	41.6	27.3	7.1
東京都	28.3	43.1	22.9	5.7
全国	27.6	44.9	22.4	5.1

③と④の回答から、6年生になりたての頃は、自分によいところがあると答えた児童が全国や都より数値が低く、そのせいか「失敗を恐れずに挑戦する」と答えた児童も少ない結果でした。このことから自分に自信をもたせるために様々な行事（たてわり班長での経験、体育発表会でのYOSAKOIソーラン、岩井移動教室での体験や係の活動、音楽会における和太鼓や器楽合奏など）が充実したものになるように計画を立てて、成功体験をすることで自信をもたせ、次のことに挑戦していこうとする心を育てるように指導を重ねてきました。今回の音楽会での演奏には、子供たちの成長が表れていると感じられました。

⑤学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

	当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない	話し合う活動を行っていない
本校	22.1	39.0	23.4	9.1	5.8
東京都	39.7	40.6	14.2	4.2	1.0
全国	37.7	42.4	14.8	4.0	0.9

⑤の回答から、話し合い活動によって考えを深めたり広げたりすることができていると答えた児童が、全国や都よりも少ない結果となっています。昨年度はコロナ感染症予防の観点から話し合い活動が少なかったことも理由の一つとしてあげられます。そのため、今年度は十分な予防対策を踏まえたうえで、様々な教科で話し合い活動を多く行ってきました。また、今年度の校内研究である「道徳科」の授業のなかでも、話し合い活動を多く取り入れることで、子供たちが多様な考えにふれながら、思考を深めたり、広げたりする授業の充実を図っています。

【12月の行事予定】

生活目標

整理整とんをしよう

日・曜日	行事（ ）は学年	日・曜日	行事（ ）は学年
1 (木)	短縮期間（～7(水)3年）安全指導	16 (金)	特別時程5時間授業 教育相談日④
5 (月)	短縮期間（～8(木)4・5・6年）		ランニング旬間終
6 (火)	避難訓練 ※不審者侵入対応訓練	19 (月)	原爆先生（6）
7 (水)	音楽朝会 4時間授業	21 (水)	たてわり班遊び
8 (木)	1年生5時間授業始（月木）	22 (木)	特別時程 給食終
9 (金)	煙体験（4・5）	23 (金)	2学期終業式 4時間授業
10 (土)	土曜授業公開日 1～3年2時間授業 4～6年3時間授業 クラブ活動（3校時）	26 (月)	冬季休業日始
12 (月)	朝会（MEET）4時間授業 教育相談日①	令和5年	
13 (火)	4時間授業 教育相談日②	1月7日	冬季休業日終
14 (水)	集会委員会集会 社会科見学（4）	(土)	
15 (木)	特別時程5時間授業 教育相談日③	1月10日	3学期始業式 給食始
		(火)	1～4年4時間授業
			5、6年5時間授業 委員会活動

※11月24日（木）にメールとお便りでお知らせいたしました「保護者アンケート」は、12月2日（金）が締切となっています。Google フォームでの御回答に、御協力の程、よろしくお願いいたします。

★12月の相談室予定★ 相談室電話 080-7197-4704

スクールカウンセラー◇石川カウンセラー 火曜日 12/6・13・20

◇二通カウンセラー 木曜日 12/1・8・15・22

心のふれあい相談員 ◇尾藤先生 毎週 月・水 12/5・7・12・14・19・21

音楽会を終えて

保護者鑑賞日、児童鑑賞日合わせて4日間に渡る音楽会が幕を閉じました。保護者の皆様には事前の衣装などの御協力に加え、多くの方に御来校いただき、子供たちへの大きな拍手をありがとうございました。コロナ禍であっても、子供たちが達成感の得られる音楽会を開催するため、指導内容から運営面まで何度も検討を重ねてきました。歌唱がなかったり、他学年の発表を自由に聴くことができなかったりなど、難しい課題も多々ありましたが、保護者の皆様の御理解・御協力のお陰で開催できたものと感謝申し上げます。

音楽会練習が始まって、子供たちの努力する姿、助け合う姿、創造力、表現力に多く触れることができ、その姿に何度も感心させられたり、感動をもらったりしました。本番が終わり、退場するときの子供たちの達成感に満ち溢れた表情が忘れられません。大きな行事を乗り越えた自分に誇りと自信をもち、この経験を今後の生活に生かしていくことを願っております。



音楽専科
山崎 瑠美香

ランニング旬間 体育

11月25日（金）～12月16日（水）中休みに体力向上の一環として校庭にてランニングを行います。走ることが習慣化されると、瞬発力や持久力が上がり、健やかな身体づくりにつながります。

安全面を考慮し、マスクを外してのランニングを行います。マスクを外したら、しゃべらないということをご指導しますが、感染予防対策としてマスクを着用する場合は、連絡帳にて担任までお知らせください。

歯磨き指導 4年

11月16日（水）に、校医の杉田先生にお越しいただき、歯磨き指導を行いました。当日は、磨きにくい箇所や、汚れを落とすための磨き方を教えていただきました。

事前の染め出し、指導後の歯磨きチェックに御協力くださり、ありがとうございました。



◆ 次年度に関するお知らせ ◆

次年度では、以下の2点が大きく変わりますので、御理解の程、よろしくお願いいたします。

- 1 全学年で毎年学級編成を行います。これまで本校の学級編成は2・3・5学年の進級時に行い、中学年と高学年では原則として2年間同じ学級で過ごしてきました。しかし、1年間で子供たちは大きく成長し学級集団の様相も変化します。子供たちには6年間で多くの友達とふれ合い、豊かな人間関係を築いてほしいと願っております。担任は持ち上がり原則にせず、1年間のスパンで学級経営に全力で臨みます。
- 2 授業時間数及び教師が子供たちと向き合う時間を確保するために、年間の行事について見直しを図ります。学区外に出かける校外学習については、移動教室を除き、各学年が遠足もしくは社会科見学のどちらか一つを実施いたします。その他に、各教科で実施する様々な校外学習や出前授業などの体験学習を計画しております。限られた時間を有効に活用し、教育活動の充実を図って参ります。